

令和 4 年 4 月 15 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
B グループ研究B
校園コード（代表者校園の市費コード）
731660

代表者 校園名： 大阪市立東粉浜小学校
 校園長名： 津田 耕
 電 話： 06-6672-0313
 事務職員名： 玄甫 優介
 申請者 校園名： 大阪市立東粉浜小学校
 職名・名前： 校長・津田 耕
 電 話： 06-6672-0313

令和 4 年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	B グループ研究B	研究年数	新規研究（1年目）
2	研究テーマ	音楽のよさを追い求めて ～知覚・感受から表現へ～			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>(1) 大阪市小学校教育研究会音楽部として、長きにわたって大阪市の音楽教育に貢献してきた研究実績を継続させ、今後の更なる教育実践の深化・充実に寄与することを目的とする。 (2) 情操教育の根幹を担う音楽を媒体として、多様化し、変化する社会の中で「生き抜く力」を備え、未来を切り拓く心豊かな子ども達を育む音楽活動のあり方について研究を深める。 (3) 新学習指導要領でめざす見方・考え方を働かせた学びができる児童を育成する授業を、「知覚」と「感受」をキーワードに追究する。</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>育成すべき資質・能力の三つの柱とリンクした次の3つの視点から具体的に研究してきた。 【視点1】 曲想と音楽の構造との関わりを理解し、基礎的な技能を身に付けることができる指導方法（知識及び技能） 【視点2】 一人一人が主体的・協働的に音楽表現を工夫したり、味わって聴いたりするための授業づくり（思考力、判断力、表現力等） 【視点3】 全ての子どもが音楽に親しみ豊かな感性を培う音楽活動の工夫（学びに向かう力、人間性等） 歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の4領域部会を組織し、研究主題・視点に沿った研究を進めてきた成果として、新学習指導案を活用し、めあてを持ち、協働的に音楽表現を工夫し、学びを振り返るという学習過程は構築することができてきている。 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、「歌えない、鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏ができない」など非常に制約もある中でも、ICT機器を積極的に活用する等工夫しながら、今できる実践研究に取り組んでいく。音楽を聴き、感じたことを、なぜそう感じたのか楽譜の中から音楽の構造を見つけたり、身体表現をしたり、音を图形に表したり等、他者と協働しながら、互いの思いや意図、気づきを共有し、感じ取ったことなどに共感したりしながら、個々の学びを深めたりすることができるようにするための具体的手立てを研究していく。そのためのキーワードが「知覚」と「感受」であり、それを共通事項である「音楽の構造」から結び付けていくことを研究テーマとする。 ①常時活動による継続的指導の積み重ねで、感じ取ったことや聴き取ったことを音楽として表現する基礎基本となる力の定着を図りしていく。 ②聴き取ったことや感じ取ったことから一人一人が思いや意図を持ち、協働的な学びにおいて、音楽で他者と対話をし、よりよい音楽を目指し、さらに深い学びへとつなげる。 ③学習指導要領の3観点をバランスよく見とる評価のあり方について研究していく。 ④本格的な環境での発表の場の確保や多様な『本物』とふれあう音楽体験の場を工夫する。他教科や生活と関連付けたり、地域に伝わる音楽を教材としたりすることで、さらに豊かな感性を育んでいく。 ⑤学習スタイルのさらなる改善、新学習指導案の形式や子どもの変容の見とり方を工夫し、指導と評価の一体化、可視化に努める。</p>			

研究コース

B グループ研究B

代表校校園コード

731660

代表校園

大阪市立東粉浜小学校

校園長名

津田 毅

		日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。
5	活動計画	<p>5月 音楽部研究計画策定全体会 昨年度までの成果と課題を確認し、今年度の研究テーマ・視点・内容・全市対象公開授業実践研修会授業者・年間計画等の検討</p> <p>7月 音楽科実技研修会（ニーズに応じて）</p> <p>8月 鑑賞指導研修会・学習指導基本研修</p> <p>9月～11月 各領域部会 公開授業実践研修会（全市対象） 4領域計4回</p> <p>10月～12月 小規模単位での「音楽交流会」の企画・支援</p> <p>11月 全日本音楽教育研究大会全国大会山口大会参加、近畿音楽教育研究大会滋賀大会参加（どちらも参加後、内容伝達及び研究内容に活用）</p> <p>12月 研究のまとめ・実践集録の作成</p> <p>1月 近畿音楽教育連合会研修会参加（文部科学省教科調査官等専門分野の方の講演等）</p> <p>2月 2年次研究発表会（研究成果の発表） 教員・児童へのアンケート実施・分析・結果の考察</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 音楽的な見方・考え方を働きさせ、聴き取ったことや感じ取ったことを音楽の構造と結び付けて考えることで、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてその良さを見出したりする、思考力・判断力・表現力が育成される。</p> <p>《検証方法》 「聴き取ったことや感じ取ったことを、音楽のしくみと結び付けて考えることができた」の子どもへの質問の肯定的回答を70%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果2】 グループ活動などで、互いの考え方やイメージを「音楽を形作っている要素」や「音楽のしくみ」に着目し交流する対話的・協働的な学びの中で、音楽表現を工夫しよりよい音楽をつくつていこうとするする力が育成される。</p> <p>《検証方法》 「音楽の要素やしくみに着目し、どのようにしたらよりよい音楽になるかなど、友達と話し合ったり試したりしながら学習に取り組めたか」の子どもへの質問の肯定的回答を80%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果3】 基礎的な技能を身につけ、「このように表現したい」という思いや意図をもち、表現したり味わって聴いたりする力が育成される。</p> <p>《検証方法》 「こんなふうに表現したいという思いやこんなふうに表現しようという意図をもって表現したか」の子どもへの質問の肯定的回答を85%以上にする。</p>

研究コース

B グループ研究B

代表校校園コード

731660

代表校園

大阪市立東粉浜小学校

校園長名

津田 耕

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果4】 心を合わせて表現を生み出す音楽の楽しさを体験したり、多様な感性・文化に触れたりすることで、音楽を愛好する心情と音楽に関する感性が育まれることが見込まれる。</p> <p>『検証方法』 「多様な音楽や文化に触れたり、表現の機会を設けたりした」の教員への質問の肯定的回 答を85%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果5】 市内各校の研究成果を共有したり、他都市の研究成果に触れることで、研究が深まり指導 力の向上が見込まれる。</p> <p>『検証方法』 「研究活動は充実していた」の教員への質問の肯定的回答を85%以上にする。</p>				
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和5年2月24日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="414 979 1033 1051"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 5 年 2 月 3 日</td> <td>場所</td> <td>大阪市立東粉浜小学校</td> </tr> </table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。 研究のまとめ（冊子）を作成し、全市小学校、関係他府県に配付するとともに、大阪市小学校教育研究会HPで広く公表する。また、指導案や実技の動画、写真等は、大阪市教育センターのwaku×2.com-beeで、広く全市に発信する。</p>	日程	令和 5 年 2 月 3 日	場所	大阪市立東粉浜小学校
日程	令和 5 年 2 月 3 日	場所	大阪市立東粉浜小学校			
8	代表校園長のコメント	<p>4つの領域部会で、全市対象の公開授業に向けた教材研究や指導案検討を通して、新しい3つの視点に基づいた研究のより一層の深化・充実を図る。 そのためには、すべての部員が限られた授業時間を大切に、日々の実践研究を大切に積み重ね検証していく。コロナ禍ではあるが、新しい学習指導案形式も一般化できるよう研究し続けるとともに評価のあり方も検討していく。 また、全日本や近畿の各音楽教育研究大会に積極的に参加し、先進的研究を学ぶことが、本市音楽教育のさらなる深化・充実に直結する。 直接、生の音楽に触ることは難しくてもオンラインの有効活用も視野に入れて研究していく。 長年継続している大阪市音楽交流会は、コロナの状況を鑑みながら、日頃の教員の研究成果を各校が交流し互いに学び合う貴重な機会でもあると同時に、子どもたちにとってより良い音楽を求め生涯音楽を愛好する心情の芽生えとなる絶好の機会でもあるので、全市として行うのではなく、実施可能な規模での開催を企画・実践していきたい。</p>				